

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		工業 建築計画Ⅱ		単位数	2
対象学年・組		3学年選択建築科	教科担任	AA:小林・小澤宏 AB:小林・小澤宏	
教科書・副教材		建築計画 なし			
1. 目標 座学だけでは得られない建築現場や建築材料、造形等に関する基礎的な技術や知識について作業を通し、協力性・安全性・作業能率・正確(精密)性についての素質を培う。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	第4章 都市と地域の計画 1 都市と都市計画	日本の都市計画法に基づく都市計画が、どのように進められ、実現されるかについて学ぶ。		2
	5	2 都市計画制度と都市計画法 3 建築と地域の計画	都市に建築物を設計する時や、新しい市街地を計画する時に配慮すべきことがらについて学ぶ。		6
	6	4 地域の計画とまちづくり	地域の特性を生かしたまちづくり手法について学ぶ。		8
	7	4 地域の計画とまちづくり	地域の特性を生かしたまちづくり手法について学ぶ。		4
	1学期授業時数計				20
2 学 期	9	第5章 建築設備の計画 1 建築設備の概要	建築設備の概要と、建築物を計画するにあたって必要な設備計画の基本事項について学ぶ。		8
	10	2 給排水・衛生設備	住宅や事務所において、給排水・衛生設備や、ガス設備などをどのように計画するかを学ぶ。		8
	11	3 空気調和・換気設備	住宅や事務所において、空気調和・換気設備のほか、冷暖房設備・換気設備をどのように計画するかを学ぶ。		6
	12	4 電気設備	電気供給方式や、照明や通信設備の種類など、建築物の電気設備を計画するうえでの基本事項について学ぶ。		6
	2学期授業時数計				28
3 学 期	1	5 防災設備 6 搬送設備	防災設備、搬送設備を計画するうえでの基本事項について学ぶ。		3
	2				
	3				
	3学期授業時数計				3
年間授業時数合計					51
3. 評価の観点・方法					
・レポートおよび課題の提出状況、授業に望む姿勢・態度など、総合的に評価する。 ・レポート提出が求められている実習については、提出がない場合は不合格とする。 ※ 本校の実習系科目は、限られた授業内で1学年から継続的な流れで知識・技能・技術を習得するものであり、単に技能等の要素を取り出すものではない。そのため、すべてのレポートの提出をもって初めて総合的な評価を行うことができる。					
【評価の割合】 軸組(作業8:提出物2) 材料(作業5:レポート5) 造形(作業8:作品2) ※ 生徒の学習進度により、授業内容に若干の変更が生じる場合がある。					